シールアンケートで「対話」







11月1日に投開票された大阪市廃止・特別区設置を問う住民投票は、「反対」が69万2996 票で「賛成」の67万5829票を上回り、制度案は否決され、大阪市の存続が決まりました。

大阪自治労連は、「政令市大阪市の権限と財源を生かして、暮らし最優先の大阪をつくろ う」と呼びかけ、運動をすすめてきました。二度にわたる住民投票で再び大阪市民が選んだ のは、「大阪市の存続」でした。

この「民意」をしっかりと受け止め、大阪府をはじめ、府内の各 自治体が住民の命と暮らしを守る本来の役割をしっかりと果たすよ う、引き続き運動をすすめるものです。住民投票を応援していただ いたみなさん、ありがとうございました。(2面に関連記事)



全国から自治労連の仲間が応援に来てくれました



発行:大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合)

2020年11月15日 No.368

発行人/有田 洋明 編集人/荒田 功 毎月15日発行 (1部10円)組合員の購読料は

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号 大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206 E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

組合費に含まれています。

絵本作家の長谷川義史さんのイラスト・メッセージに

まで 『その子自身はありのま と受けとめる保育をす 研修などで学びま に問題や課題

日の投票日の行動が終わ

大阪自治労連 書記次長

まさる 将さん

出身は吹田市関連労組(学童保育 指導員支部)で、2014年3月末に退 職し本部に常駐。昨年の9月の定期 大会で書記次長に選任されました。 「目の前の任務をこなすのが精一杯 で、先々を見通せずご迷惑をおかけ しています。常に何かに追われ続け て1年が過ぎました…」と語る仁木 書記次長に話を聞きました。

コ 7 働の た日 々

意義や役割につ 改めて公務労働 対応で動き続 ス感染症が広 人出がなく コロナ禍で かされま プを目の

な言葉は 「出会い

言っていて、良い学級だったので会いを大切にしなさい」といつも会いを大切にしなさい」といつも 「そうやなあ」 今になってもその思いは変 と思うまま社会に 人の 顔と

「その子

を取り巻く環境

(家庭・

どもや保護者と関わる中で、

いた時、

ましたが、 を市民と行政が一緒に考えて作 てくれて本当に心強かったです 「大阪市を残して、 と二分された中で 多くの方が聞いてくれてい きませんか」 に感じました。 」と真剣に考えた人が聞いてくれていたが聞いてくれていた 大阪の未来

みんなが機敏に対応し た」とあいさつされ ばらしさを再確認で 変更などで迷惑をか 治労連本部 その通りだと思 行動の急な の長坂副

おおさか自治体の仲間 2020年11月15日 第368号 3